

## コラム

# 独り言

平石裕一

もとギンロウケン、今キンユウロウドウネットを頑張って運営している田中さんから、ツブヤイテクレないかとメールがあった。

ツイッター - は今や予想外絶大のチカラを発揮している。××労働組合連合会や##政治団体が躍起になって動員をかけて集められる人数を、遥かに超える大群衆が続々官邸周辺を包囲する出来事が一度ならず起こっている。それ程国民の反対の心はつよく、同時につぶやきで集客するツイッター - のちからが大きい。それにくらべて大衆金融に携わる私達のネットはどうだろう。先細りのままみたい？

今この国は働く者達をまずしくさせ、老後を不安にさせ、街々の店のシャッタ - を次々下ろさせている。人間ならず資本だけ肥えふとり、国庫を借金だらけにして栄え続けていられると思っている。そういう状況下で、細腕で？金融ネットを張り続けるのは、どんな効用があるのだろうか？

私はこの火はツブヤキ続けることによって、国民金融のルネッサンスのハチドリになれる可能性があると思っている。灯を消すまい。それには国民金融の復興を願う一人一人がつぶやいてほしい。つぶやくことをお互いにやって欲しい。

高田太久吉先生という心棒を軸にして、私も含めて金融をマネ - ジしてきた人々と金融を実践してきた人達が、いま閉塞している大地から蘇らせるために、大いに勝手につぶやくことを心掛けたらどうだろう。

例えば、中小企業の資金需要が低迷しているとして、信金信組グループは予貸率51～53%を続けているが、地域金融機関である地銀・第2地銀が73% 台を継続しているのはなぜか。あの都銀が貸金業を本体に取り込んで二桁金利の個人ローンを堂々と売りに出しているのはどう思うか。一方NPOバンクが社会的ローンを普及するのに資金調達が信金などから断られ、同じNPOの支援を受けざるを得ないと協同金融特別研究会で話していた。

また、椎名女史のイニシャチブのもと「銀行債務者の権利保護のための法律を」と1) 整理回収機構の解散、2) 連帯保証人にたいする取り立て規制を、3) 二重ローン問題解決へ公的資金投入を...など訴えて多数の国会議員を巻き込み法制化の運動を起こしているのをどう思うか？ こういうのは私たち金融関係者の「つぶやき」にはいらぬのだろうか？ で、結局は月一度くらい生身の顔を合わせたらどうだろうか。

お互い顔を合わせることが力を生む。...と思うのであるが。

以上